

沼田市が除染実施計画書を発表

沼田市はこのほど「沼田市除染実施計画書」の第1版を発表しました。この計画書は、市内の放射性物質の現状や除染実施の方針、対象区域、除染実施時期、汚染された土壌等の収集・運搬・保管及び処分に関する事項など、8項目からなっています。

文科省の航空モニタリング調査結果で除染地域を選定

計画書では、文部科学省と群馬県が8月23日から9月8日にかけて実施した「航空モニタリング」の測定結果による平成24年6月30日における汚染状況予測の資料により、除染必要地域を決定しています。

それによる除染実施計画の対象となる区域は、沼田地区では、上久屋町、横塚町、久屋原町、佐山町、上発知町、中発知町、発知新田町、下発知町、岡谷町、奈良町、秋塚町、善桂寺町、大釜町、宇楚井町、石墨町、戸神町、白沢町では高平、平出、上古語父、下古語父、利根町では高戸谷、大原、穴原、根利、小松、柿平となっています。

実施時期は、優先度などを勘案して24年度からすすめますが、25年8月の時点でそれ以降の見直しを行なうとしています。

5月23日から各地域で説明会（回覧板で周知しています）があるので、ぜひ参加しましょう。

竜巻被害支援ボランティアに行ってきました

5月12日、日本共産党栃木県委員会の要請で、利根沼田から2人が参加しました。井之川市議と平井常任委員は、真岡市周辺の農家のかたづけなどを手伝いました。



屋根の吹き飛んだ建物



前方のハウスは被害を受けていないが手前のハウスは全壊

市議会経済建設常任委員会が行政調査 豊後高田市の「昭和の町」などを調査



5月8日～10日、沼田市議会経済建設常任委員会は中心市街地活性化対策などの先進地視察で、大分県豊後高田市、大分市、福岡市、直方市の中心市街地活性化対策などの調査を行ないました。

豊後高田市の「昭和の町」は何の変哲もない古い商店街（写真左上）ですが、「昭和の町」と銘打って宣伝したら観光客が増え、昨年はこの商店街に40万人が訪れました。左下の写真は、「昭和の夢町三丁目館」という資料館の内部の展示物。

大分市商店街では、「(株)大分まちなか倶楽部」を設立し、民間主導で商店街の活性化に取り組んで成果を上げ、平日の昼間でも一定の人通りがある。（右上写真）

右下の写真は、直方(のうがた)市のレトロタウンの一部。直方市は、病院を市街地に誘致するため駅前区画整理なども取り組んで154床の社会保険病院の移転が決まっています。駅舎や駅前広場の整備なども実施しているが、古い建物を調査し、文化庁の補助も活用し、保存に取り組み、それを生かした都市観光にも力を入れている。



| | |
|------------------|----------|
| 2012年5月20日 | No.608 |
| いのさんニュース | |
| 発行所沼田市下久屋町983 | ☎23-1519 |
| 井之川博幸議員活動地域版部内資料 | |